

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	私立保育所整備費借入金利子補給事業			会計	款	項	目	大	小
政 策	O4	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	子ども家庭課					
施 策	4-1	安心して子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり	主管課長	熊井 彰					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	社会福祉法人	意図	保育所の緊急整備が必要な時期(千葉県が対象とした施設)に整備を行った社会福祉法人に対し、建設費借入金の利子補給をすることにより、社会福祉法人の経営を支援している。
事業内容	私立保育所整備費借入金利子補給要綱に基づき社会福祉法人が施設整備資金として借り入れた利子相当分の一部を補助することにより、社会福祉法人の経営を支援する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成18年度迄に私立保育所を整備する為に借入を行った社会福祉法人を対象としている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	利子補給を受けている保育園数	4	3	3	
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 年々償還期間が経過し、利息分が減少している。
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
事務事業の総コスト(a=b+c)	906,193	830,491	788,977	
事業費(b)(円)	219,693	159,291	129,777	
うち一般財源	219,693	159,291	129,777	
職員給与費(c)(円)	686,500	671,200	659,200	
人役・職員(人)	0.10	0.10	0.10	
人役・再任用(人)				
人役・臨職(人)				
人役・嘱託(人)				
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）				
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）				

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	対象となる経費は、確定しているため、適正な支出に努めていく。	③取組における課題(Check)	償還期間は、複数年残っているため、当該事業を廃止することは難しいと考えている。また、償還により元金が減り今後も社会変動がない限り、利息が減少する。
②H30に実施した取組(Do)	適正に支出することができた。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	今後も、適正な支出に努める必要がある。